

②ミズアオイの育て方

■ミズアオイについて

沼や田んぼなどの浅い水辺に生える。1年で枯れてしまう。青むらさき色のとてもきれいな花が咲く。大昔から人々に親しまれ、野菜のように栽培して食べられていたようだ。オニバスと同じく、昔は「さすてな京都」周辺の大きな池や沼にも生えていた。水路の工事や除草剤の影響で、日本全国で数が減っている。



ミズアオイの花（丸い葉はオニバス）

■ミズアオイの育て方

必要なもの

水：水道の水で大丈夫。水は土の上から5～10cmあると良い。

水が少なくなったら足して、水がなくならないようにしよう。

土：ホームセンターなどで売られている「荒木田土」やイネ用の土が良い。土の厚さは容器の底から15cmあると良い。

容器：土が入り、水がためられれば何でも使える。バケツやトロ箱などがおすすめ



トロ箱で育てたミズアオイ

タネを植える・芽が出てくる（3～4月）

- ・ 陽がよくあたる所で育てよう。
- ・ タネは土の上にはばらばらとまけば大丈夫。容器の大きさにもよるけれども、くばったタネを全て同じ容器に撒いてOK。
- ・ 3月終わりから5月はじめごろに芽を出す。まず小さい針のような葉（右の写真）が伸びてくる。



ミズアオイの芽生え

葉の形が変わりながら大きくなっていく（4～8月）

- ・ 芽が出てから、小さな針のような葉→ボートのように水面に浮く葉→立ち上がる大きな葉…と、葉の形が次々変わりながら大きくなっていく。ミズアオイが元気だとハート状のかわいい葉に成長する。



芽が出て少し大きくなった葉



ボートのように水面に浮く葉



立ち上がる大きな葉
（より育つとハート形の葉になる）

花がさく・果実ができる（8～10月）

- ・ 8月から10月頃まで花をつける。花は大きくとてもきれいな青むらさき色。咲いたら写真を撮って、オニバス里親プロジェクトのみんなに知らせよう。
- ・ 割いた花は、しばらくすると果実になる。8～10月の間に花と果実が混ざってつく。



ミズアオイの花



ミズアオイの果実

種子の収穫（9～11月）

- ・ 9月おわりごろ、茎が折れ曲がり、果実を水の中につけるような形になる。こうなると果実が熟したサイン。果実をとって集めよう。
- ・ 集めた果実は水を入れた別の容器に入れておくと、果実が割れて中から小さなタネがたくさん出てくる。
- ・ タネが出てきたら果実の「カラ」は捨てて、タネを水で洗い、水を入れたペットボトル等に入れて冷蔵庫で保存してね。種子は細かいので水と一緒に流さないように注意しよう。「茶こし」などを使うと洗いやすい。



茎が折れ曲がり水につかった果実



果実から出てきたタネ

片付け

- ・ ミズアオイは1年で枯れてしまう。葉が枯れたら、水を抜き、枯れた株は抜いて捨てよう。枯れた株を土に混ぜてしまっても良い。
- ・ 来年もミズアオイを育てたいときは、土をかき混ぜて天日干しにして乾かさう。土の状態が良くなるよ。



冬になり枯れたミズアオイ

注意!! オニバス・ミズアオイを捨てないで!

- ・ オニバスやミズアオイを川や池、水路などに捨てては絶対にダメ! 地域の自然に悪い影響を与えるよ!